

# 宮田守男 ファイナル風 (現場)からの

東京オリンピックを強く意識させる「2020(二〇二〇)年を控えるオリンピック」を翌年に控える日本中が沸き立つのだ

ろう。長野冬季オリンピックでも、1年前イベントをはじめ、多くの本番を見据えた各種大会が開催され地域が盛り上がった事を今でも鮮明に覚えている。競技会場としての白馬も、世界にHAKUBAをアピールする最大の機会と捉え、数多くの戦略が練り広げられた。

その中でも、オリンピックのロゴ(五輪マーク)が使用できる競技会場の利点での知恵比べだった。現在は、ロゴ使用の許可を得ていた長野オリンピック組織委員会が解散したため、新たにグッズを作る事はでき

ないが、当時制作したものを記念として所持している関係者は多いはずだ。また当時使用許可を得て、販売したオリジナルグッズはオリンピック開催の財産を活かしたいとの願いから、現在も販売して

長野オリンピック・ロゴ入りの帽子やTシャツ・記念のオリジナルのピンを付けて出掛けてみてはどうだろうか。それらの行動は、オリンピック競技開催地としての財産を更に活かせるのではないだ

00万人を超えたのは6年前、それがたちまち3倍となる急伸だ。政府は、2020年の訪日客を4000万人との目標に挙げているが、現在の動向は予想を上回っている。長野放送で放映され

## オリンピック開催地としての財産を更に活かす知恵と行動が大切だ

いる店舗もある。

東京オリンピック開幕までオリンピックへの関心は日増しに高まるに違いない。そして2020年に向け多くの長野県民が東京方面に出かける機会も多いはずだ。その時には、

ろうか。オリンピックで、再度盛り上がりな理由は無いはずだ。当時の情熱を、思う存分発揮する行動を期待したい。

「YOUは何しに日本へ？」を視聴している人も多いはずだ。番組内では性別・年齢を問わず名前ではなく外国人はすべてYOU。MCのバナナマンの進行で「日本すごい」ではなく、「日本の



白馬駅前店舗に陳列するオリンピックグッズは開催した意義を語り続けている

そんなとこ・発見するYOUすごい！」をテーマにした番組。昨年暮れには、乃木坂46がガチ参戦して3時間スペシャルの人気番組だ。外国人の視点の意外性に驚かされるばかりだ。これからの戦略を練る中でも多くの観光関係者に視聴してほしいと思っている。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)